

令和6年度第3回月形町総合教育会議顛末

- 1 日 時 令和7年2月13日（木）午後3時20分～午後3時48分
- 2 場 所 大会議室
- 3 出席者 上坂町長、藤原副町長、兼平教育長、岸上教育長教育長職務代理、目黒教育委員、上葛教育次長、野本主幹、加藤主幹、西川学務係長、今井社会教育係長、五十嵐学務係主査、加藤総務課長 計12名
- 4 顛 末

（午後3時20分開会）

【加藤総務課長】

定刻前なんですけども、皆様お集まりとなっておりますので、ただ今から令和6年度第3回月形町総合教育会議を開催したいと思います。上坂町長からご挨拶いたします。

【上坂町長】

お忙しい中、何度もお集まりいただきありがとうございます。

今日、義務教育学校の整備について議件がありますが、今日、そのことについて私から最終的に現在に至った判断の結果だけ、お話をさせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【加藤総務課長】

はい、

それでは、これからの進行については町長の進行で進めさせていただきます。

【上坂町長】

それでは、義務教育学校の整備について、議件に入らせていただきますけど、前回、一度立ち止まってということで、そして1月中には一定程度判断を下すというふうにお話をさせていただきましたけど、改めて義務教育学校の整備について、議会の皆さん、そして町民の皆さんについて、十分な理解が得られないということの中で、令和7年度の当初予

算は見送るというように判断をしました。なお、この後の日程等については、改めて、議会、町民の皆さんと話をし、決断をしたいというように思っておりますけど。義務教育学校の整備について、諦めたわけではありません。そういったことの中で、当初予算を見送り、しかるべき判断をしたいということの中で、皆さんにご理解をいただきたいと、そのように考えておりますので、委員の皆さんから、何かこの件についてですね、ご意見等あれば承り、改めて議会、町民の皆さんに理解を求め、次の段階に進みたいというように思っておりますので、よろしくをお願いします。

【岸上教育長職務代理】

はい。これは、先月、教育委員会議に呼んでもらって、いろいろ財務状況とかの説明を受けて、私個人としては、やらない理由は何なのかなっていうぐらいちょっと感じたんですよね。立ち止まるっていうことについては、もうどんどんコストが嵩むと思うんです。建築費も上がって参りますし、議会と住民の皆さんの理解が得られないっていうようなお話ではあったんですけども、これ、町の財政とかいろいろなことを考えると、これは住民と議会の理解を求めるような行動をやって、速やかに進めるべき案件ではないかと思うんですが、これをどのように理解を求めていく行動されるのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

【上坂町長】

私は一定程度、これまで教育委員会の方からも、それから準備委員会とかも含めて、建設設計について、進んできているというようには理解をしてたんですけど、改めて、町の財政、そして50億にはね上がったということの中で、町の財政は大丈夫なのかという疑問があちこちから出ているということの中で、そして先般、議会の議長と副議長ともお会いをして、話をしたんですけど、その辺の溝が、埋まらないということもあってですね、もう一度、そして改めて、町民に、そして、議会に、今やらないと。予算の推計とか、そういうような部分の中では、一定程度話をしているし、今やらないと、もっと経費がかかるとい見積もりも見込みを示してるんですけど、その辺についてまだ不十分だと。町民

の人や関係者に。そういうことの中で、改めて私の方から早期に説明をするということで、理解をしていただきたいと思うんですね。

それ以上、今やるべきことっていうかね、もう一度、説明をし直し、そして現在の実施設計の内容等についても再度説明をして、そして理解を得たいというように思ってる。

【岸上教育長職務代理】

はい、わかりました。ありがとうございます。

学校に限らず、いろんなものを作り直していかなければならないものがあると思うので、ちょっと選んだりするのは大変かと思うんですけども、長引けば長引くほど、お金が掛かりますし、ずっとこれが据え置きとか、そういうことになってくれば、例えば進めていく役場の方たちのマンパワーとかもどんどん、テンションが落ちるといとか、あと、それから人数的な問題もありますし、そういうことが減ってくると、どんどんやりにくくなる事業だと思いますので、いろいろなことを考えて、大変だとは思いますが、見直して進めていただければと思います。よろしく願いいたします。

【目黒委員】

私も建てた場合の試算と建てなかった場合の試算とかを説明いただいたんですけども、私は、その財政とか詳しくないんですけど、見た感じ、そう変わらないなあと感じたのは確かです。それで財政の不安があるということで、住民の理解が進んでいない、不足してるということなるんですけども。これを今後、説明していくと思うんですけども、どのような判断で十分に進んだのかとか、そういう判断基準とかは、何か今のところ考えているようなことがあるんでしょうか。

【上坂町長】

もう複式学級が目の前にあるとか、小学校も中学校も修繕にかなりお金が掛かるとか、そういうようなこと等を丁寧に説明をするしかないと思ってるんですね。そして、建設をした場合については、既に費用が出ていますから。それと、例えば今の中学校を直して、そこで義務教育学校やってもいいじゃないかっていう意見もあるとか、そういう話も出て

るんですよ。ですから、その場合、もっとういこと掛かるというようなことの中で、新しく建てて、そして、義務教育学校を開設したいということを丁寧に説明をしなければならぬだろうというように思っています。それ以外、例えば、子どもたちの数が将来もっと減るんだから、今の基本設計の教室なりなんなりももっと少なくてもいいんじゃないかとかいう意見もあるようなんですけど、その辺についても、もう十分絞ってこうこういう形でこうなんだっていうようなことを、丁寧に説明し直すということをやらないと、今の状況の中で、建設に踏み切るっていうのは、ちょっと無理なんだろうなという判断をしたわけですよ。ですから、それ以外に方法はないと思っています。

【目黒委員】

小さくできないかとかいう声があるのかもしれないですけども、もともと義務教育学校の審議会で、もちろん財政があつての建設、そして、人数の少ないことも考えてコンパクトにという答申があつたんですよ。それで今の設計でいくと、本来の教室の広さよりもコンパクトにしている、もうすでに小さくしている状態だと思うんですよ。だからこれ以上削るとか、そういう議論にはもうならないのかなあという気もして。これを住民に説明する。また考える。なんかこれがずっと続くような気がして、どこかで義務教育学校の可否も、どこかでちょっと決断しないと、ずっとこのまま、だらだらいつて、何も実現しないような気が、僕はちょっとしてるんですよ。その辺がすごく心配です。

【上坂町長】

最終的には、私の結論が、踏ん切りがつかないっていうことの中でね、先延ばしになっているという捉え方をされてると思うんですけど。補助金の問題など、そういうことも含めて、十分に私が自ら説明を丁寧にしていなかったなという反省をしています。審議会とか、そういったところに任せて、そして、教育委員会の皆さんにもご苦労をかけて、十分、段階的に説明をしてきているというように思っているんですけど、ただ、やっぱり私からのメッセージが足りなかったんじゃないかというように思っています。ですから、委員の皆さんにも、本当に心配をかけて、この段階でここまで来て、見送るという事について

は、逆に、いつまでやっていくんだという、ますます不安を抱かせていると思うんですけど、令和7年度中には、判断をしたいというふうに思ってます。そうしないと、今、目黒委員がおっしゃったようにですね、いつまでもああだこうだで行くのではないかと思うんですね。じゃあ、いつまでについていうように言われると、今のところ、内心は、これぐらいが限界だろうなというふうに思ってますけど、今のところをコメントをするわけにはいかないと思ってるんです。ですから、丁寧に、そして住民の不安、そういったことについてですね、十分に受け止めながら、このように考えるという形の中で、結論を出したいと思います。ですから、この後、予算の発表もありますし、まずは、総合教育会議のメンバーの皆さんにですね、改めて、7年度の当初予算については、上程しないということと、そしてもう一度、町民や議会に対して丁寧に説明をするということのご理解を、まずはいただいて、そして早々に進めていきたいというふうに思っています。

【兼平教育長】

よろしいでしょうか。確認とお願いといいますか、基本的にはですね、いろいろ悩まれ、町長が、そのようにご決断されたということで、私自身は尊重したいなというふうに思っています。

1つは、そもそも当初予算には盛り込まないという流れで来ましたので、当初予算に計上しないというよりは、今年度の着工について、着工しないということで確認してもいいですか。

【上坂町長】

7年度に着工しないというですか。

【兼平教育長】

そうですね。当初7年度から着工の予定だったんですよね。

【藤原副町長】

今、教育長から予算とその着工の確認のお話がありましたので、7年度、この3月で実施設計が仕上がるということですよ。そのあと、予算計上については、補正予算という

段取りになろうかと思imasので、町長も先ほどから説明したことについてはですね、7年度の予算計上は見送るという形で、同時に着工も7年度中にはしないという形になります。ですから、最短、8年度以降の予算計上を目指していくということになろうかと思imas。ただその時期は、今は、何時ってというのは、この場ではまだ未定です。

【兼平教育長】

わかりました。記録にも残るかと思imasのでちょっと確認をさせていただきました。

それで、お願いです。前回も申し上げたんですけれども、ここに来るまでに審議会、準備委員会で論議を非常に重ねてきての計画ということになっております。先ほど、町長がおっしゃった、いろんな方のいろんなご意見、ほぼ網羅して検討して、今の形ということになっております。私がちょっと懸念しているのは、そういう審議会、この義務教育学校に関わらず、様々な審議会あろうかと思imas。庁内にいろんな物事を進めていくときに。それがずっと議論を重ねてきて、そこが尊重されないというか、そういう形になってしまうのは非常に悪しき前例になりかねない。その意味が1つ。

もう1つは、結局、今までここに来るまでの間に明確な反対意見は、町内的にはなかったというには私は認識しています。ただ1点問題になっているのは、いわゆる建設費の物価上昇に伴う増加。ですから、私が言いたいのは、今までの審議会なり、準備委員会なりが積み上げてきた議論を、まずは尊重していただきたい。そこを基に、その財政的な不安ですね、結局ね。建築費、建設費が増大したことによる、そこに不安があるというふうに私は理解しておりますので、その不安を払拭するというところに焦点を絞ってですね、ぜひこの後、説明なり、ご理解を得るなりすべきなのではないかなというふうに考えています。はい。そうすべきかなというふうに考えておりますので、ぜひご検討いただければと思imas。以上です。

【上坂町長】

今、兼平教育長、委員のお立場でおっしゃったのと、岸上委員と同じ意見だと思うんですよね。

町民の一部やどこかでは、もっと小さくできるのではないかだとか、いろんなことを言っているというような話がでていますが、もう、十分に今回の設計段階まで議論を積み重ねてきたという事だと思う。当然、私はそのことを前提に町民に分かってもらう必要があると思っています。審議会や準備委員会の意見を踏まえて、改めて建築費はこれぐらいになるけど、中身の精査等については、こういう形の中で来たので、最終的には町の財政負担については、こういう形で返済計画、そして、こういう形で進めていくということの中で、皆さんには心配のないような形で実施をしたいということで説明しようと思っています。そのことについては、ご理解いただきたいと思います。皆さんには、大変申し訳ないと思っています。そして、また同じことの繰り返しのならないように、十分に説明を尽くしたいと思いますし、子どもたちの未来のために、しっかりとした、コンパクトで、そして、私は月形に合った学校整備をしたいということについて、改めて総合教育会議での先ほどの意見も踏まえて、説明をして、理解を求めたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

【上坂町長】

議件のその他で、何か準備してる事項ありますか。

【加藤総務課長】

ありません。

【上坂町長】

教育委員会から何かありますか。

それでは、本当に申し訳ありません。今日のご意見も踏まえて、しっかりと町民の皆さんに説明をして、必ずや早期に実現できるようにしたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。今日は、ありがとうございました。

(午後 3 時 4 8 分閉会)